

子育ての悩みに寄り添う絵本
子育てと絵本 vol.43

こんな時こんな絵本 その15 「本を好きになってほしい」

「子どもには本を読むようになってほしい」という声は保護者の方からよく聞かれます。子ども時代の絵本は、他者や世界との関係を紡ぎ、想像力を豊かに、そして「非認知能力」も育て、豊かな人格形成をもたらします。

絵本「かえるのほんや 3びきのみならい」。まちの はずれの ふるい ほんやは、うらにわが もりと つながっています。そのもりのなかの やなぎのきにかえるの ほんやがあります―。「かえるのほんや」に続くシリーズ第2弾。失敗や試行錯誤をしながら努力していく心の豊かさまで伝わってくる絵本です。ピンクの背景とかえるの表情に惹きつけられる表紙。丁寧な描写。軽快なストーリーも合わさって心と体が踊ります。

「もっかい!」。そろそろ、おやすみの じかんです。セドリックは、まっかな こわいドラゴン…「あした もっかい よんであげるから」もっかい! もっかい!―。おやすみ前の絵本タイム。お気に入りの絵本をママに読んでもらい、「もっかい!」と何度もせがむうちにママが先に寝てしまう、よくある日常の光景です。絵本も読んでもらいたいけれど、ママとの時間も過ごしたい。絵本の字が躍り、おはなしがかわる、遊び心いっぱいのかかけ絵本。

子どもは同じ絵本を何度も見たり読んでもらったり、ちょっと見ただけで他へ意識が向いたり、こうやって自分の好きな物を探したり、興味関心を深めたりしています。子ども自身が好きな物を探す過程も大切にしたいものです。

今年の読書週間は10月27日から11月9日。秋宵に、親子で心も体もどっぴりと絵本に浸ってみませんか。子どもにとって親と一緒に過ごす時間と空間の温もりは、絵本と共に深く心に刻まれます。幼少時の温かい絵本空間は、幼年童話、そしてさまざまな書物へと広がっていきます。

本のある暮らしは私たちの心を豊かにしてくれることでしょう。大人になっても新たな世界を発見し体感することができます。

今回ご紹介する絵本



かえるのほんや
3びきのみならい
作・絵 やぎ たみこ
PHP研究所



もっかい!
作 エミリー・グラヴェット
訳 福本 友美子
フレーベル館

子育てひろば「めぐみ」代表 弘田 恵子

1998年から20年間高知市内の「めぐみ保育園」で園長を務め、現在は妊娠中からの悩みサポートを行う。助産師、看護師、保育士、幼稚園教諭(二種)。絵本専門士(国立青少年教育振興機構認定)。朗読指導者(公財 文字・活字文化推進機構認定)。上級睡眠健康指導士。アンガーマネジメントファシリテーター。

